



社団法人北海道自然保護協会会長 佐藤 謙 様

拝啓 新緑の候、貴会ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、貴会を含めた12団体からの申し入れ書を連休明けの5月8日に拝見し、次回の天塩川流域委員会において紹介するよう事務局に指示したところですが、5月10日迄に回答するようにとのことでしたので、従来迄の当委員会の審議を踏まえ、以下のとおり私としての考えを取り急ぎお伝えいたします。

当委員会においては、これまで平成15年5月の委員会設立以来、その設立趣旨や設置要領を踏まえ、計13回の会合を開催するとともに、平成17年4月には市民からの意見聴取会を開催するなど多くの意見を頂きながら、それら寄せられた意見を踏まえ、天塩川河川整備計画（原案）や天塩川に関わる事項について、議論を深めてきたところです。

ご提案の話し合いの場の設置等については、これまで委員会で、委員以外の方を入れた専門部会等の設置を含めて審議しましたが、その設置の可能性は残しつつも、委員会の中で、委員同士で議論を進めていくことが望ましいとなったところです。また、議事の記録については、委員会設立当初さらには昨年議論した結果、全文の公開ではなく、事務局の発言を入れて、全体の流れがわかるような形で議事要旨をまとめるよう改善することとなったところです。私としては、これまでの委員会の議論を踏まえ、委員間で議論をしながら、適切に議事を運んで参りたいと考えております。

なお、委員会終了後の記者会見については、その後の予定により、やむを得ず欠席することがありますが、今後とも時間の許す限り、出席する考えです。

今後、天塩川河川整備計画（原案）に対する意見のとりまとめにあたっては、寄せられた多くの意見を踏まえつつ、それぞれの委員のお立場から意見を出し合い、議論を深めた上で、委員会として意見を取りまとめていきたいと考えておりますので、ご理解頂けますようお願いいたします。

敬具

平成18年5月10日

天塩川流域委員会委員長

清水 康行